

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成29年 11月20日 NO. 113

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

目次	●平成29年度 第2回理事会／市町村老人クラブ連合会会長研修会	2
	●平成29年度 健康づくり大学入学式	3
	●平成29年度 新任単位クラブ会長研修会	4
	●平成29年度 シルバースポーツ大会	5
	●平成29年度 社交ダンス大会	6
	●平成29年度 第46回全国老人クラブ大会	7
	●特集「友愛活動」について①	8-9
	●第35回都道府県・指定都市老人クラブ リーダー中央セミナー	10
	●女性リーダー一泊研修会／越生町たかとりクラブ白梅会 活動紹介	11
	●さいたま市老連南区寿楽会 活動紹介	12
	●飯能市老連前田あさひ会 活動紹介	13
	●小鹿野町長若第二老人クラブ 活動紹介	14
	●川口市老連さしまスローライフ 活動紹介／編集後記	16



彩の国

平成二十九年 第二回理事会

平成二十九年九月八日(金)、彩の国すこやかプラザにおいて第二回理事会を開催しました。出席者は理事十八名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 高橋義一
- ・監事 野口元固
- ・監事 後藤勉

◆第一号議案「副会長の選定(補充)について」

左記の者が選定されました。
内田まさ子(川口市)、原伸次(川越市)

◆第二号議案「平成三十年年度の予算編成に対する要望について」

- 左記の四項目を県に要望するのと承認されました。
- 一 単位老人クラブに対する助成費の確保
 - 二 市町村老人クラブ連合会に対する助成費の確保
 - 三 県老連が行う健康づくり事業

に対する補助金の確保
四 県老連事務局職員体制の充実と運営に対する支援

◆第三号議案「平成二十九年年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について」

候補者・候補団体全てを表彰することに決定しました。

◆第四号議案「平成二十九年年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学「県老連役員との懇談交流会」の参加について」

左記の六名が参加することに決定しました。
高橋義一、成田準之助、玉水きみ子、清水勝美、内田まさ子、後藤勉

◆第五号議案「平成三十年版皇室カレンダーの斡旋について」

本多観光を通して一本千円(税込)で斡旋することで承認されました。

市町村老人クラブ連合会会長研修会

平成二十九年七月十二日(水) 彩の国すこやかプラザ セミナーホール

①開会行事

- ・開会 午後一時
- ・開会のことば

成田準之助副会長

- ・「埼玉県歌」の合唱

- ・あいさつ 高橋義一会長

- ・自己紹介 老連役員・出席者

四十五名

②埼玉県老連「三万人会員増強運動」について

落合一弘事務局長

この運動は平成二十六年より開始し、平成三十年度は最終年度にあたる。平成二十八年度も本県は七十二クラブ、六千三百名ばかり会員減少したが、全国的には減少の幅が小さくなっている。

平成二十九年度は何としても所期の目的を達成したい。

③新地域支援事業について

椎名久美子事務局主査

介護保険制度の改正により平成二十七年より始まった新地域支援事業への移行は、本年度が最終年度にあたる。新事業は新しいことを始めるのではなく、従来老人ク

ラブが取り組んで来た、生活支援・見守り支援・通いの場づくり・健康づくり支援・情報伝達支援などを市町村の事業に位置づけることから始めてはどうか。

④事例発表

新座市老人クラブ連合会の新地域支援事業と会員増強運動について

新座市長寿支援課元気増進係長

金山 徳夫氏

市老連と話し合いを重ね、新地域支援事業へ老人クラブが参画するために、介護保険課とも相談を行い、にいざ元気アップ体操等健康活動への参加などの市のプランへ位置づけた。

⑤質疑応答及び意見交換

(内容は省略)

五氏より質問応答あり。

⑥閉会のことば

さいたま市老連会長竹内榮一氏。
閉会午後三時二十四分。

深谷市 小林 英

平成29年度 埼玉県老人クラブ健康づくり大学学生名簿

No.	氏名	市町村名	No.	氏名	市町村名
1	志村 安子	川口市	27	濱中かつ子	さいたま市
2	角海 和子	川口市	28	寺崎みどり	さいたま市
3	工藤 彌子	川口市	29	鍋谷 幹二	さいたま市
4	鈴木 孝枝	川口市	30	鍋谷 雅子	さいたま市
5	京極恵美子	川口市	31	神戸 和雄	さいたま市
6	島崎 孝司	川口市	32	小野 順枝	さいたま市
7	藤井タツ子	川口市	33	勅使河原英男	さいたま市
8	宇佐美喜栄子	川口市	34	田河 正子	さいたま市
9	櫻井 トキ	川口市	35	岡田 茂	さいたま市
10	須田 直子	川口市	36	齋藤 秀男	さいたま市
11	小泉 光行	川口市	37	太田 司郎	さいたま市
12	鈴木 節子	川口市	38	岩井 住男	さいたま市
13	長谷川佳子	川口市	39	松田 明	さいたま市
14	荻島 恒次	川口市	40	小山 久夫	加須市
15	町田 和子	さいたま市	41	荒平 純枝	春日部市
16	小暮 英夫	さいたま市	42	安田 晴江	春日部市
17	猪俣 克志	さいたま市	43	藁谷喜久子	上尾市
18	金勝 謙介	さいたま市	44	中村 吉事	上尾市
19	奥田 由江	さいたま市	45	木村 初雄	越谷市
20	長島 元子	さいたま市	46	花形 俊男	北本市
21	大山 弥生	さいたま市	47	川畑 篤子	北本市
22	溝口美千子	さいたま市	48	麦倉 宏	蓮田市
23	新井 昭子	さいたま市	49	寺崎 正勝	蓮田市
24	新井城太郎	さいたま市	50	緒方 英喜	杉戸町
25	佐藤千津子	さいたま市	51	星 荘三	川越市
26	矢口 吉則	さいたま市			

●開会式
 司会は県老連事務局の椎名主査が担当。竹内榮一県老連副会長の開会の挨拶に続いて高橋義一学長（県老連会長）の歓迎と激励の挨拶があり、その後、小林松十郎広報委員による「田島浩埼玉県福祉

●記念撮影
 県老連役員と入学生の記念撮影。椎名主査より今後の事業日程や教育課程の説明があった。また、

●オリエンテーション
 部長「齋藤十朗全老連会長」からの祝電の代読。県老連の役員の紹介。入学生代表小山久夫氏（加須市）の誓いのことばと続き、内田まさ子県老連副会長の閉会の挨拶で入学式は終了した。

平成二十九年
 健康づくり大学入学式

平成二十九年七月十九日（水）午前十一時より、入学者五十一名を迎えて、彩の国すこやかプラザセミナーホールで行われた。

部長「齋藤十朗全老連会長」からの祝電の代読。県老連の役員の紹介。入学生代表小山久夫氏（加須市）の誓いのことばと続き、内田まさ子県老連副会長の閉会の挨拶で入学式は終了した。



入学生代表の誓いの言葉

学生のグループが六班に編成され学生委員長に小山久夫氏（加須市）が選出された。

●健康よもやま話
 午後一時からは、高橋学長による第一回目の講義。食べ物に対する豊富な知識を活かして、左記の話があった。

① 朝昼晩に食べる食品名やグラム数
 ② ビタミン、ミネラルを含んでいる食品
 ③ カルシウムを含む食品
 ④ 摂りたい食品、控えたい食品 等

●高橋学長の挨拶（要旨）
 埼玉県の健康づくり大学も今年で十五期を迎えた。老人会の活動について十分に学んでほしい。また、卒業後は、地元はその知識を持ってかえり、老人クラブのリーダーとして、立派に活躍していただきたい。



平成29年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学入学式

●入学生代表小山久夫氏（加須市）の誓いのことば（要旨）
 今回、健康づくり大学で学ぶことに感謝し、講義には積極的に取り組みますので、宜しくご指導をお願い致します。

川越市 小林 松十郎

平成二十九年年度

新任単位クラブ会長研修会開かれる

八月三十日(水)彩の国すこやかプラザで開催された。参加者は、新任会長百二十五名、健康づくり大学生五十名、計百七十五名が参加。

開会宣言のあと、県老連高橋義一会長の挨拶で、全国的に老人クラブ会員が減少している。埼玉県も同様である。三万人増の取り組みを皆さんとともに達成したい。私の住む川口市での試みとして新加入会費ゼロ円としたが効果は出ませんでした。お金ではなく、どのような活動をしているか分りづらい会には、タダでも入らない事がわかりました。見える活動が基本と激励の言葉をいただきました。

●「講演Ⅰ」

全国老人クラブ連合会参事の河野敦子氏から「老人クラブの歩み、



全老連
河野敦子氏

現状と課題」の講演をいただきました。埼玉県の老人クラブ



発祥の地である小鹿野町のお話には会場がざわめきました。

リーダーとなった方々へのアドバイスとして、自分が役を引き受けた時の不安を、次期リーダーが同じ思いをしないように記録を残すことを意識することと、わかりやすい言葉をいただきました。また、高齢化問題とされているが行政に頼るだけでは良いことはない。自分たちができることは自分たちで実行する。これが老人クラブです。

老人クラブの活動の基本は次の

四つです。

- ①生きがいづくり
 - ②健康づくり
 - ③仲間づくり
 - ④地域づくり
- 全部やらなくてもいいのです。この四つの目標を意識しましょう。

老人クラブって何をやっているの？と聞かれた時に、この四つの言葉で自分のクラブの活動をあてはめれば説明できます。

●「講演Ⅱ」

県老連落合一弘常務理事からは埼玉県の老人クラブの会員数の状況推移の紹介がありました。

県内には約三千の老人クラブがある。一クラブ一人増で三千人増。クラブを解散すると一気に五十人減。役員後継者がいないので単位クラブを解散してしまう。困った



女性リーダーが大勢参加

時に相談できるのは老人クラブの仲間しかいません。会員の六割は女性です。女性も役員として活躍できるように役員の理解が大切です。

●「講演Ⅲ」

県老連椎名久美子事務局主査から「新地域支援事業」について分りやすい説明がありました。

埼玉県は他の都道府県よりは先進的取組が行われていると評価されている。今日ここに集まった単位クラブ会長におかれても、自信を持って取り組みを進めて欲しい。今までのクラブでの活動がまさに新地域支援事業です。

- ①多様な生活支援
 - ②多様な通いの場づくり
 - ③見守り支援
 - ④健康づくり
 - ⑤情報伝達支援
- どれかに属する活動を行っています。

閉会のことばとして、県老連竹内榮一副会長から、ケネディ大統領の演説から「国が諸君のために何が出来るかを問うのではなく、諸君が国のために何が出来るかを問うてほしい。」を引用されて終わりました。

さいたま市 渡辺 充

平成二十九年年度

シルバースポーツ大会

熊谷スポーツ文化公園

●出場選手数

台風のため一日延びた平成二十九年十月三十一日(火)、県内各地の腕に覚えのある老人クラブの選手たちが集まってきた。

- ・ゲートボール 四十四チーム 二百七十四名
- ・グラウンド・ゴルフ 百十六チーム 四百六十四名
- ・ペタンク 三十二チーム 百二名
- ・ワナゲ

六十六チーム 百九十八名

- ・ソフトテニス 十九ペア 三十八名
- ・マグダーツ 二十一チーム 六十三名

選手と役員の参加者数、約千四百名。

●開会式

- ・成田準之助県老連副会長の開会宣言
- ・知事のあいさつ(田島浩埼玉県福祉部長代読)



彩の国プラチナフェスティバル

平成29年度シルバースポーツ大会結果

●ゲートボールの部

- 優勝 深谷市岡部B(連盟)
- 準優勝 上吉田長寿クラブG・B部(秩父市)
- 第三位 所沢市長生連コスモス(所沢市)

●グラウンド・ゴルフの部

- 団体戦
- 優勝 伊奈町長寿クラブ連合会A(伊奈町)
 - 準優勝 深谷市Cチーム(深谷市)
 - 第三位 白岡B(白岡市)

個人戦

- 優勝 原 脩(上尾市)
- 準優勝 相川 勝(上里町)
- 第三位 吉田 光政(深谷市)

●ペタンクの部

- 優勝 熊谷桜堤(熊谷市)
- 準優勝 上黒谷長寿クラブ(秩父市)
- 第三位 白菊(越生町)
- 第三位 野坂長寿クラブ(秩父市)

●ソフトテニスの部

- 優勝 田中 喜代司・江森 恵子(行田市)
- 準優勝 中澤 富士子・松本 幸子(深谷市)
- 第三位 清水 達雄・山岡 由比子(行田市)
- 第三位 斉藤 幹夫・島田 君子(熊谷市)

●ワナゲの部

- 優勝 深谷市Eチーム(深谷市)
- 準優勝 上押切Aチーム(熊谷市)
- 第三位 深谷市Fチーム(深谷市)

●マグダーツの部

- 優勝 狭山市シニアニューウェーブ会(狭山市)
- 準優勝 狭山市武蔵長寿会(狭山市)
- 第三位 横瀬町チーム(横瀬町)

・高橋義一県老連会長あいさつ
今年のゲキは「元氣か!」「頑張るか!」「勝つか!」

・小林哲也埼玉県議会議長の祝辞

・富岡清熊谷市長の祝辞

●試合開始

開会式終了後、ゲートボールとソフトテニスは熊谷ドーム、グラウンド・ゴルフは陸上競技場、ワナゲとマグダーツは雨天練習場、ペタンクは東第四多目的広場で、十時過ぎより熱戦を展開。

(結果は別表の通り)

戦いは午後三時ころまで続き、会場ごとに、表彰と閉会式を行い終了。

●大会を支えた人々

彩愛クラブ埼玉の、熱き戦いを計画し、運営するのは県老連の役員(二〇数名)だが、役員だけで実施できるはずがない。

そこには大会を支えた多くの方々がおいでのなる。埼玉県ゲートボール連盟、埼玉県グラウンド・ゴルフ協会、埼玉県ペタンク・ブル連盟、熊谷市ソフトテニス連盟、フレンドリー情報センター、埼玉県レクリエーション協会、望蘭会、春日部健康体操クラブの一〇四名の方々である。

それから地元の熊谷市長寿クラブ連合会の皆様にも大変お世話になりました。深谷市 小林 英

平成二十九年度 華やかな社交ダンス大会

平成二十九年度の社交ダンス大会は、九月十九日に開催されました。会場は北本市の中丸公民館です。大会参加者は、埼玉県内各地から約八十名の他、多数の北本市老連役員が運営を担い、会場は熱気満々で盛り上がっています。

社交ダンス大会は、艶やかにド



レスアップした女性たちと、背筋をピンと伸ばしチョット気取った男性たちが、お互いに笑顔で踊る、いつもと違う雰囲気に参加者と観覧応援者にとっての魅力です。



開会に先立ち、参加者の緊張を解きほぐすダンスタイム。素敵な音楽に合わせて会場いっぱい踊

りの輪が広がります。益々雰囲気盛りあがってきます。益々雰囲気

開会式は、高橋義一県老連会長と堀越一三北本市老連会長の激励の祝辞をいただき、審査員の原秀子氏（全日本ダンス協会認定教師北本市在住）が競技説明をし、いよいよ競技会のはじまりです。

緊張した表情でパートナー同士が向かい合いホールド状態で音楽の始まるのを待ちます。会場はシンと静まり返っています。会場はさあーっ 音楽のスタート。

一斉に動き出す踊りの輪。右に左に弧を描く、軽快なステップで縦横無尽に動きまわる。動

きに合わせ女性たちのドレスの裾が、揺れたり、広がったりする。

まるで蝶が舞っているようです。パートナーとの見事な息の合い方は、見応え十分。至極の時です。踊り終えた時に、お互いを讃えあう姿は素晴らしいものでした。受賞名は別表を参照ください。

この賞は、パートナーと、いかに楽しそうに踊っていたかです。またの再会を、参加者同士アイコンタクトを笑顔で交わし会場を後にしました。

参加者と運営の北本市老連の皆様、本当にありがとうございます。北本市 佐田 一郎

賞	チーム名
第1位 埼玉県老連会長賞	吉川市連合長寿会 文化部 社交ダンス教室
第2位 北本市老人クラブ 連合会会長賞	所沢市長生クラブ 連合会 ダンス部
第3位 審査員特別賞	吉川市連合長寿会 社交ダンスサークル
グットルーティン賞 (音楽、構成が素晴らしいチーム)	和光市生きいき クラブ連合会
ビューティフルライン賞 (ラインが良くそろっていたチーム)	さいたま市緑区 みむろむつみ会
チームワーク賞 (チームワークが良く踊れたチーム)	北本市 シャル ウィ ダンス

第46回 全国老人クラブ大会



- ・日程 平成二十九年十月十八日(水)・十九日(木)
- ・会場 ロームシアター京都みやこめっせ
- ・参加者 埼玉十九名
- ◎厚生労働大臣表彰
成田準之助副会長(春日部市)
堀越一三理事(北本市)
越谷ファミリータウンシルバークラブ

◎全老連会長表彰

新座市老人クラブ連合会
竹内榮一副会長(さいたま市)
野口元固監事(長瀬町)
後藤 勉監事(さいたま市)

宣言

高齢化の進展しているわが国では、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる仕組みとして、地域包括ケアシステムの構築をめざしています。

本年度からすべての市町村で実施される新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)では、多様な主体による多様なサービスが求められており、老人クラブの活動経験を活かした、積極的な参画が期待されているところです。

そのようななか、老人クラブが取り組んできた高齢者が支え合う友愛活動、健康づくり活動は、一層重要性を増しています。行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、すべての人がいきいきと生活できる地域共生社会に向けた取り組みを推進していきたいと存じます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の4年目を迎

さいたま市老人クラブ連合会
北本市京王友愛クラブ
大宮プラザシニアクラブ
◎永年勤続表彰
椎名久美子(県老連主査)

えています。これまでの先進例に学びながら、組織をあげて、さらなる取り組みの強化に努めてまいります。

世界遺産をはじめ多くの文化財の宝庫である古都・京都に集う私たちは、「のぼそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- 一、健康寿命をのぼす「健康づくり活動」、支え合う「友愛活動」の充実
- 一、老人クラブ「一〇〇万人会員増強運動」の推進
- 一、「高齢消費者被害防止キャンペーン」の展開
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成二十九年十月十九日

第四十八回 全国老人クラブ大会

許さないニセ電話詐欺

これが巧妙な罠。

①「デパートから、〇〇さんですか? あなた名義のカードで買い物をするようにお願いしましたか? あなたの個人情報が出てきたのでカードが偽造されたようです。警察から電話が行きます。」

②警察から電話「デパートから連絡を受けました。この件で銀行協会から、確認の電話が行きますので対応してください。」

③銀行協会から電話「至急銀行口座を止めます。キャッシュカードは何枚お持ちですか。それを答えると、念のため「パスワードを教えてください。」〇〇銀行と△△信金は「0296」です。新しいカードを発行して郵送します。今のカードは職員が回収に伺います。自宅でお持ちください。」

④ピンポン「ピンポンとチャイムがなる。銀行協会から来ました。先ほど連絡したカードを回収します。これでカードを渡したら、虎の子は全部引き出されてしまう。このパターンで、埼玉県では昨年二十億円の被害が発生。

銀行・警察・クレジット会社は、カードを直接回収はしません。これだけは忘れないで。仲間に伝え被害を防止。犯人は毎日騙し方を勉強しています。俺は騙されたいと思ってる方が一番騙されているらしい。自信過剰は怪我のもと。

さいたま市 渡辺 充

総力を結集して市町村老連が

新地域支援事業へ参画しましょう

113号
特集

友愛活動

～老人クラブの

について ①

基本の活動～



新地域支援事業参画は、平成 29 年度中には、全国の自治体実施することが求められています。県老連の県内 57 市町村老連へのアンケートでは、新地域支援事業について 58% の市町村が、市町村老連に何らかの説明を行い、協議体への参加が求められています。

市町村と市町村老連が一体となって新地域支援事業の取組みを進め、友愛活動を推進する必要があります。

友愛活動を進めましょう

友愛活動を進めるにあたり、活動内容の具体的な項目は次の 5 つです。各項目すべてを一斉に取り組む必要はありません。自分たちの老人クラブとして、現在の活動状況や、会員の状況に応じて可能な項目から取り組みましょう。徐々に拡大(項目や、対象者など)し、無理が生じない事が優先です。「老人クラブがめざす友愛活動」として、5 つの活動に整理しました。

- ①多様な生活支援
- ②多様な通いの場づくり
- ③見守り活動
- ④健康づくり支援
- ⑤情報伝達支援

① 多様な生活支援

老夫婦だけやひとり暮らしの場合、日常生活で不便を感じる時があります。

- 電球交換 ●重いもの等の移動 ●ゴミだし ●買い物手伝い
- 会合参加(お誘いや一緒に参加) など



② 多様な通いの場づくり

外出のきっかけとなる通いの場をつくる(何かやれる参加できる場所)

- お茶飲み会 ●健康づくりサロン ●料理サロン ●歌声サロン など

③ 見守り支援

身近な人を見守ることで、いざという時に必要な支援につなげる

- 声掛け ●安否確認 ●訪問での会話 ●電話での会話 ●話し相手 ●お誘い など

④ 健康づくり支援

動かないから動けなくなります。これを予防するのも老人クラブの大切な活動です。

- 体操 ●ウォーキング ●シニア向けスポーツ
- 健康体操教室(運動、食事、口腔ケア) など



⑤ 情報伝達支援

必要な情報が届いていなかったり、理解できなくて活用できていないのが実情です。仲間に必要で正しい情報を伝えるのも老人クラブの役割です。

- 行事案内は手渡しと会話で ●福祉制度の勉強会を開催 ●特殊詐欺被害防止は話し相手が身近に居る など

老人クラブの活動そのものが「友愛活動」であり、上記①～⑤の支援を市町村の事業に位置づけましょう。

これから友愛活動に取り組む老人クラブへの7つのアドバイス

① 地域の一員として取り組みましょう

自治体や地域では、高齢者を支えるさまざまな取組みが行われています。活動に取り組む前に、地域包括支援センターや、行政、社会福祉協議会などの状況を学ぶとともに、活動に取り組む意思を伝え、地域の一員として、協力しあい支え合う取組みをめざしましょう。

② 組織決定をして取り組みましょう

活動の実施に当たっては、総会などで組織決定を必ずしましょう。会員みんなが活動の目的や内容について意識しておくことが大切です。

③ 活動の担い手を育てましょう

活動を継続していくためには、担い手を育てることが大切です。会員だけでなく、地域の高齢者にも呼びかけましょう。

④ 対等の友人として支え合いましょう

「お互いさま」の気持ちで取り組みましょう。

⑤ プライバシーを守りましょう

個人の生活に関すること(プライバシー)は、緊急を要する場合を除いて他の人に口外しないように気をつけましょう。

⑥ 記録をつけましょう

活動内容だけでなく、参加者や訪問先での気づき等を簡単に記録しておくことで活動に役立ちます。

⑦ 緊急時の対応に備えましょう

訪問先の方が倒れていた、参加者が急に具合が悪くなった……等の緊急時に備えて、対応について話し合っておきましょう。

上記の7つのアドバイスは、皆さん方がこれまでの活動を通じて経験してきたことを、要約したものです。みなさんのクラブの取組みを、これからの活動に照らし合せ点検してみてください。より多くの活動に取り組み、地域での支え合いの広がりにつなげていきましょう。

参考資料：老人クラブがめざす「友愛活動」全国老人クラブ連合会資料より

第三十五回 都道府県・指定都市

老人クラブリーダー中央セミナー

平成二十九年八月八日から九日の二日間、東京の新霞が関ビル五階で「第三十五回 都道府県・指定都市老人クラブ リーダー中央セミナー」が開催されました。

テーマは、「全ての地域にクラブの設置を、新設クラブの推進へ」。セミナーの目的は「一〇〇万人会員増強運動」に取り組み、実践事例や情報交換を通じて協議を行うセミナーを開催し、行動提案を協議の場とする、でした。

開会の挨拶は、全老連副会長の松寿庶氏。世界の長寿国は、香港・アイスランド・スイス（八七・八一歳）など。日本では葉が良くなり、食料の確保が出来、また戦争がなくなったことにより長生き出来るようになりました。その半面で生きることの難しさがありません。健康で、医療費を掛けない社会作りの必要性に合わせ、老人が多くなって来たことにより、クラブ員全体への目配りが難しくなってきたことなどを挨拶の冒頭で述べられておられました。

●全老連事務局長の谷野香氏の報告がありました。

「老人クラブ組織の発展に向けて」地元の好事例の発掘を行い、今後活用すること。話し合いを通じて、よこに展開していくことの重要性などを提議されました。

●中京大学教授の野口典子氏の講演では、少子高齢化、人口減少社会において、同世代同士が支え合い、高齢者世代が家から一歩出るチャンスの必要性、そして身の回りに対しての不安を感じながら生活していること、子供や孫はいるが頼りたくないなどの意識問題を提議されました。

自分の地域で様子を見ながら老人クラブに入ると、様々な人達と交わることが出来る。また、その時入会者がどのように感じているかを役員の方がよく知ることが必要との講話でした。

●八月九日（水）の二日目は、厚生労働省老健局振興課長の込山愛郎氏の行政報告がありました。地域支援事業の介護予防と、日常生活

支援を、事業者以外の皆でやるように。事業者も多様化してきたので、任意事業として老人クラブでの活動を事業化して参加させ、住民主体による支援を専門職以外で行うなどの提議をされました。

①地域住民の参加はニーズに合ったサービスが出来る。

食事も、安否確認、外出支援、介護者支援など。

②高齢者の社会参加を促す。現役時代の能力を活かした活動や興味や関心がある活動（ボランティア）などを薦める。

国としての介護給付金が、二〇〇〇年では三・六兆円だったものが、二〇一六年には十・四兆円となり、今後六十五歳以下の生産年齢は減少していき、七十五歳以上の高齢者の人口が増加し続ける。それを支える専門職数は要介護者の増加に対応することは期待出来ません。

最後に、全老連常務理事の齊藤秀樹氏の講話では「潰れそうだから加入してほしい」では入会者の加入は見込めない。リーダーのやる気がなければ会員は増えない。元気で活動している会にはそれぞれ、秘訣があるので見習うべきで

老人クラブリーダー中央セミナー



す。解散する会があると、全体から五十〜八十名の会員減少となることを役員は理解していなければなりません。新設の会を増やすことが大切であるとお話でした。

老人会は地域貢献活動である。今回の参加者は八十二名。北海道から鹿児島県までで、分散会では各老連会長からの成功例や失敗談、今後の希望など様々な意見を耳にすることが出来ました。人の話を真剣に聞いて持ち帰ろうとする姿勢が印象に残るセミナーでした。

新座市 伊藤 史郎

女性リーダー一泊研修会

秋の気配を感じられる八月三十一日、九月一日栃木県老人クラブ連合会との交流に私たち女性リーダー三十六名、落合事務局長参加の元、生憎の小雨の中でしたが川口駅をスタートし新都心駅を經由、栃木県へと向かいました。羽生(S.A)で休憩をした頃には雨も止み栃木市内で昼食を取り一面森に囲まれた、本日の会場「とちぎ健康の森」へ到着、栃木県老連鈴木女性委員長、栃木県老連白根沢事務局長の出迎えを受け、会場へと誘導され、玉水副委員長の開会宣言後、埼玉内田委員長、栃木白根沢事務局長、鈴木委員長の挨拶後、本日の講演「支え合い社会」における老人クラブの役割と女性リーダーへの期待と云うテーマについて事務局長白根沢氏の講演を約一時間お聞き致しました。会員減少の歯止めには自治会との連携を図り、地域社会の支えとし



て、元氣な高齢者を受け皿として役割を担って頂きたいと思えます。また、高齢者の住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生最後まで続けることが出来る「地域包括ケアシステム」の支え合い社会の実現を目指す元氣な老人クラブの期待が大きい。「新地域支援事業」として認定してもらうには市、町の担当課と連携して、これまで続けてきた友愛訪問、見守り活動、介護予防、健康づくり活動をそのまま生かして行けば良いと思います。今まで私たちが何度となく様々なところで、学んできたことを今一度あらためて、本日の細やかな講演により、再認識を致しました。一夜の宿源泉遺産那須塩原別邸にて和気あいあいの中の宴席で他地域の方々と触れあいが出来た事や、尚バス車内にて内田まさ子新委員長の明るいおとり計らいにより、二日間楽しい思い出が出来ました。事務局長落合様お世話になりました。有難う御座いました。椎名久美子主査のご参加が無かったです。越谷市 清水 絹代

越生町たかとりクラブ白梅会

楽しい集いで情報交換

平成二十九年

九月十六日(土)

午前十時より、

越生町「朝日の

あたる家」にて、

白梅会(高山好

晴会長、七十七

歳、会員は男性

二十一名、女性

二十八名、合計

四十九名)のお

茶飲み会が開催された。

●お茶飲み会

「朝日のあたる家」に約三十名

が集まり、食事とお茶・お酒で、

楽しくおしゃべりをしながら、老

人会の事業計画、お互いの地域の

情報や民生委員より町の行事や防

犯の情報を交換後、ビンゴゲーム

とカラオケを実施している。

参加している方に感想をうかが

うと「若い人は勤めで、家では話

す相手がいないので、人に会うだ

けで元気が湧いてくる。また、お

話をするだけで楽しい」。

なお、会場は、副会長さんの所

有で老人会に無償貸し出し。

●組織

会長一名、副会長一名(会計を

兼務)、婦人部長一名(地区連絡



員兼務)、地区連絡員六名。

●年間の事業

①グラウンド・ゴルフ 月三回(土)

学校のグラウンドを借用。

②お茶飲み会 二ヶ月に一回

③子供会との交流会

流しソーメンの食事会、川遊び、

野菜の天ぶらの食事会 等。

④老人会が甘酒でおもてなし

この地区は越生町のハイキング

コース上にあり、越生梅林のお休

み処で観光客に甘酒で接待。

⑤炊き出し訓練(朝日のあたる家)

災害時(停電と仮定) 男性の会

員が、カマドを設置、釜(二個)

を使い、薪でご飯を炊きあげ、お

むすびやカレーを女性会員と子供

会にご馳走した。

●会員の増強について

この地区は「旧梅園村」で戸数

百九十戸。住民は約六百人の小世

帯なので、住民はみんな顔見知り

なのです、老人会への加入は各地

区の連絡員に一人ひとり声を掛け

てもらっています。

●今後の会のあり方

「みんなが楽しみながら、誰で

もが、やれることを見つけていき

たい」と、高山会長は述べた。

川越市 小林 松十郎

さいたま市老連南区寿楽会

笑顔がいちばん



会長 宮崎三津子さん
平成二十九年六月三十日(土)。「長寿を祝う会」と銘

うって集まった仲間五十三名。

会場の自治会館大広間には既に大勢の仲間が集まっていました。今日の会の目的は八十五歳と九十歳以上の長寿仲間を祝うためです。それぞれの対象者に素敵な贈り物が準備されていました。九十歳以上の方三名には、手作りの「夫婦人形」(写真1参照)。八十五歳の方々十八名には手作りの「布草履」(写真2参照)。

寿楽会は昭和四十三年の創立。

五十年の歴史を積み上げてきました



写真1
夫婦人形 穏やかな眼差し

た。

現会長の宮崎三津子さんは十代目。昨年からは会長を担っています。現在会員は八十八名。

昨年一気にグラウンド・ゴルフ愛好者十九名の仲間が増えました。その理由が面白い。老人会に入れば「場所の確保が楽になり、仲間を増やせると考えた。一緒に活動できる繋がりが一気に拡大したようで、とてもうれしかった。」会員増は、個別のお誘い、行事のお誘い、夫婦での加入をすすめることが基本です。主な活動は、スポーツ(グラウンド・ゴルフ、ペタンク)、フラダンス、カラオケ、民謡(唄と踊り)、お茶のみ会などサロンの活動があります。特にスポーツ系は、市や県の大会に参加できるような情報の提供に努めたい。



写真2
布草履
夏向きな室内用

また、認知症でも活動に参加できるように意識し、地域包括センターとのつながりを大事にしています。



今回も地域包括支援センターからも参加してもらい、互いが顔見知りになれることを意識しています。

お祝いの会の後、役員の方々とのお話を紹介します。

これから何かやりたい事は？

「今のうちに、たくさん仲間に集えれば良い。サロンも、誰でも知っている、この場所で開くのも必要だが、近所集まる場が増えたら良いと考えている。この自治会館では、焼きそばパーティーや豚汁パーティーなど仲間が力を集め能動的に参加できるような事を進めたい。

バス旅行(日帰り)なども欠かさず続けていきたい。」

この地域は「浦和競馬場」入口広場前で「ラジオ体操会」が自主的に運営されています。

参加最高齢者は九十二歳。活動

に歴史があり、役員に頼らない運営が続いているようです。今日の会に参加された皆さんは、年齢を感じさせない大きな笑い声が響いていました。

集合写真を撮る時にも、写真屋さんの様に並び方を指導する人、笑顔で撮れるよう冗談を飛ばす人など、この会の暖かさや優しさが湧き出ていました。参加者全員笑顔で記念撮影。

「いち！たす！いち！はー！にーっ！」

さいたま市 渡辺 充



飯能市老連 前田あさひ会

子ども会との交流事業〜子どもたちから元気を〜

前田あさひ会の在る前田自治会区は、駅前通りからやや離れた古い下町の様相をしているが、新築の住宅やマンションも建築されており、高齢化率は市の平均値を下回っていることから若い新たな住民が暮らしていることもわかる。一世帯当たりの世帯員がほぼ二人と、核家族化、一人暮らしも顕著だ。前田あさひ会が子ども会との交流事業を主催するのはこれで五回目。年々高齢化してきた会員が家の中に閉じこもりがちになってきていることから、子どもたちの力を借りて外出する機会を増やそうというのがきっかけだ。これが、夏休み中に家の中でテレビゲームに興じている子どもたちを心配したお母さんたちのニーズとマッチした。



当日は、会員約十五名、子ども約十五名、子ども会役員のお母さん数名が参加して行われた。夏にちなみ「四谷怪談」を子ども向けにアレンジした紙芝居を楽しんだ後のゲーム大会が本番。郷土かるたにオセロ、輪投げの三つのゲームを、くじ引きで組み合わせた会員と子どもたちが交代で行う。普段やる機会が少ないアナログなゲームを、子どもたちは真剣な眼差しで楽しみ、その姿を会員がほほえましく見守る。また、最初は少し遠慮がちだった子どもたちも徐々に打ち解け、次第に会員との会話も増えていった。そして、ゲームの進行をフォローするお母さんたちが頼もしく、世代を超えた交流が生まれていた。

この事業だけで地域につながりが生まれるといった誇張りが過ぎるが、知り合った顔とのあいさつが繰り返されることにより、これまでになかったつながりへと続く道は生まれると思う。そんな期待を抱くような交流事業だった。

飯能市 高野 伊九子

大好評! 旅らんどがお勧めするお得なお宿!

※平日に限ります

ポイント

- 15名様以上送迎付宿泊プラン!
- 傷害保険(死亡時1000万円)付!
- 宴会時2人に1本の割合でビール付!
- 宴会は完全個室宴会場にて!
- 宴会時カラオケサービス!
- 宴会時、全員にお酒又はジュース1本付!
- 観光を取り入れたオリジナルコースを無料作成!

県	地名	ホテル名	1泊2食(税込)	
			10・11月	12~3月
長野	戸倉上山田 [♫]	ホテル雄山	10,650円	9,150円
長野	斑尾花が入 [♫]	パートンホテル	12,500円	11,500円
長野	白馬	けやきの樹	12,800円	設定無し
栃木	乃木 [♫]	乃木温泉ホテル	15,800円	15,800円

※その他指定旅館以外のホテルも多数ございます! ※10名様から送迎可能なホテルもございます!

詳しくは、お問い合わせ下さい。資料をお送り致します。

全国旅行業協会(ANTA)会員・栃木県知事登録旅行業第3-695号

個人宿泊から
団体旅行まで
予約・手配・コース作成は

株式会社 旅らんど

〒320-0822 栃木県宇都宮市河原町7-5 フェニックス瑞雲508号室

028-688-8322 FAX 028-688-8323

総合旅行業務取扱管理者/金子 慎

営業時間 AM9:00 ~ PM5:30 (定休日:土・日・祝日)

【企画実施】楽旅クラブ 茨城県知事登録旅行業2-618号
茨城県筑西市幸町3-15-11

お電話1本で!

サルビアの栽培活動

——安心・安全な地域を求めて——

小鹿野町長若第二老人クラブ

八月下旬、小鹿野町長若地区を訪れると学校など公共施設や町の中心にサルビアが晩夏の日差しを受けている。

これは長若第二老人クラブ（坂本好司会長）のサルビア栽培活動である。

長若地区というと、県内でいち早く老人クラブが、産声をあげたところ。現在の会員、七十八名がこの栽培活動に取り組んで十五年になる。

① 種子採取と土作り

十一月二十三日地区の祭りがすむとプランターを集め、花びらを集めて十分に乾燥させる。



三月に花びらから手もみで採種を行う。同時に冬の間に、土を落葉で作った堆肥の混ぜ合わせを繰り返しながら翌年に備える。

② 日をずらした種まき

プランターに種をまく。ただし花の咲く時期をずらせるために、まく時期も四月、五月、数回に分

ける。

③ ポットに移植

発芽のようすを見て行う。

④ プランターに移植

六月、プランターに植え付ける。

（なお、プランターは製材所で板にしたものを手作りする。）



植え付けたプランターは肥料とともに各地区に配布し、管理は各地区で行う。

⑤ 飾りつけ

花が見ごろになったころ、地区の中心・学校・公共施設に飾りつける。

- ・プランターにはすべて表示がなく、自然な中で鑑賞する。
 - ・車を出した会員に燃料代を払う他は費用をかけない。
 - ・活動は町のクリーンウォーク運動の一環として行う。
 - ・栽培を通して会員同士、会員と地域のつながりを深める。
- なお、①～⑤の作業は屋外の作業場で行う。

深谷市 小林 英

埼玉県老人クラブ連合会様 いつでも！おみやげ

信州 戸倉上山田温泉の旅

参加者 埼玉県老連様特典
全員に びっくり！お土産付



■生あんず
6月・7月



■長いも
11月～3月

シルバー料金	1月～9月・12月	10月～11月
1泊2食	10,800円	11,800円
2泊5食	17,600円	18,600円

※ 15名様以上でお申し込み下さい。
※料金は、毎夕お酒1本付諸税込みの宿泊代です。
※行き帰りの昼食代・見学科・有料道路代等は別に必要です。
※ご宴会は貸切宴会場、カラオケサービス致します。

バス代無料！

埼玉県国民健康保険指定ホテル

(ゆうざん)

ホテル 雄山

〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉 2-32-11

電話番号 026-275-2333

老人クラブ 3つの保険 〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対 象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1 24時間型						2 活動型					
〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉						〈クラブ活動中とその往復路上 ^(注3) のケガを補償します。〉					
① クラブ活動中のケガの場合は、 白地 + 濃いグレー の合計 黒色 の保険金額が支払われます。 ② クラブ活動中以外のケガの場合は、 薄いグレー のみの保険金額が支払われます。						① クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。 ② クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。					
年間掛金	10,000円		5,000円		3,500円		年間掛金	2,000円	1,000円	500円	
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	
補償内容							補償内容				
死亡保険金	170万円	217万円	85万円	109万円	45万円	91万円	死亡保険金	170万円	85万円	45万円	
(注1) 後遺障害保険金	170万円	—	85万円	—	45万円	—	(注1) 後遺障害保険金	170万円	85万円	45万円	
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円	2,280円	2,000円	1,140円	1,000円	950円	(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,700円	1,300円	850円	650円	600円	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,300円	650円	
※「24時間型」の職種別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。						ご注意 ●職種別B級に該当するおもな職種 ・建設作業員、自動車運転者、探鉱・採石作業員などの傷害リスクの高い職業。 ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。 ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。					
※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%～100%が支払われます。) ※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。 ※注3 往復路上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。											

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補 償：支払限度額1億円

公益財団法人全国老人クラブ連合会 **保険係**

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00967 平成29年4月作成 

川口市老連 さしまスローライフ 笑顔があふれる真昼の盆踊り

平成二十九年八月三十日（水）午前十一時三十分より、川口市戸塚西公民館の二階体育館にて、さしまスローライフ主催（鯨井寛正会長、七十二歳、会員三百七十名）の「真昼の盆踊り」が約三百人を集め盛大に開催された。会場で感じたことは、受付が参加者一人ひとりに親身に対応していること。次に会場の設営では各役員が誰の指示を仰ぐことなく自分の持ち場をこなしていることに感心しました。その秘訣を鯨井会長よりお伺いする事ができました。



●盆踊りをなぜ昼間に？
「町内会での盆踊りがすたれて来

ているので、戸塚西公民館の館長さんのご配慮と、小学校の先生方、生徒、一般の方の参加で老人クラブが地域を代表して開催して四年目になります。夜では、高齢者の外出に危険が伴うので、取りやめる人が多いと思いますが、昼間だと大勢の人が参加してくれます。」
会場では約百人の浴衣姿の踊り手が生き生きと笑顔で踊っていました。

●盆踊りの運営の仕方は？

「運営費用は、会員の寄附と、企業の協力金でまかなっている。何の気兼ねも無くてできます。運営は三十五名の担当役員に全て任せています。なお、会員の健康を考えて三十分間の踊りと休憩を交互に、休憩時には、無料の綿菓子、カキ氷、お菓子の掴み取りと太鼓の練習や記念撮影を実施しているのが好評のようです。」

●会員増強の秘訣を教えてください

「老人クラブはいつも楽しくないと人は集まって来ません。会合では、先に笑顔で挨拶し、全員に一

言ひとことと言葉を掛けることが一番大切だと思っています。」

◎クラブの運営内容を紹介します

●組織の役員

会長一名、相談役一名、副会長四名、会計二名、監査二名、総務四名、幹事三名、役員二十二名

●定例会議の開催

①定例幹事会（毎月一回）
②定例役員会（毎月一回）

●クラブ活動

①カラオケクラブ ②書道クラブ
③グラウンド・ゴルフ部
④歌う会 ⑤なかよしウォーキング ⑥ハーモニカ同好会
⑦パソコン教室 ⑧お遊び健康クラブ ⑨ゴルフ部

●健康活動

①お楽しみ会 ②若返り健康講座 ③ラジオ体操集い

●学校応援団（差間小学校）

①登校・下校の見守り
②グラウンド・ゴルフの指導
③放課後の子ども教室

川越市 小林 松十郎

「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。



編集後記

第九十九回の夏の高校野球で、埼玉代表の花咲徳栄高校が優勝。埼玉は春の選抜大会では二度の優勝がある。夏は決勝戦三度目で優勝を達成した。「百年のうっぶん晴れた」と見出しの新聞も。甲子園に来て六戦。延べの打者数二百三十。得点六十。高校生の人生はこれから。浮かれて天狗に成り過ぎは禁物。周りの大人がしっかりとサポートが必要。

平成三十一年に全国老人クラブ大会が埼玉県で開催される。めったに無いチャンス。全国からお客様をどのようにお迎えするか楽しみ。埼玉県の高齢化は他県より急速に進む可能性が強いとか。加齢は止めることが出来ないが、体力・気力の低下はコントロール可能。老人クラブの活動はこの低下防止が大切。新地域支援事業では「友愛活動」でお互いの見守りに力を入れていく。眺め合うのではなく一緒に何かをやることが要。こんな活動を他県から来る仲間と一緒にりと見ていただきたい。「彩愛クラブ埼玉」は老人クラブの会員向けに情報を提供しています。単位クラブへ正しい情報が伝わるよう九人の広報委員が頑張っています。これからも愛読をよろしくお願います。年三号発行。百十三÷三で三十八年の歴史です。

さいたま市 渡辺 充